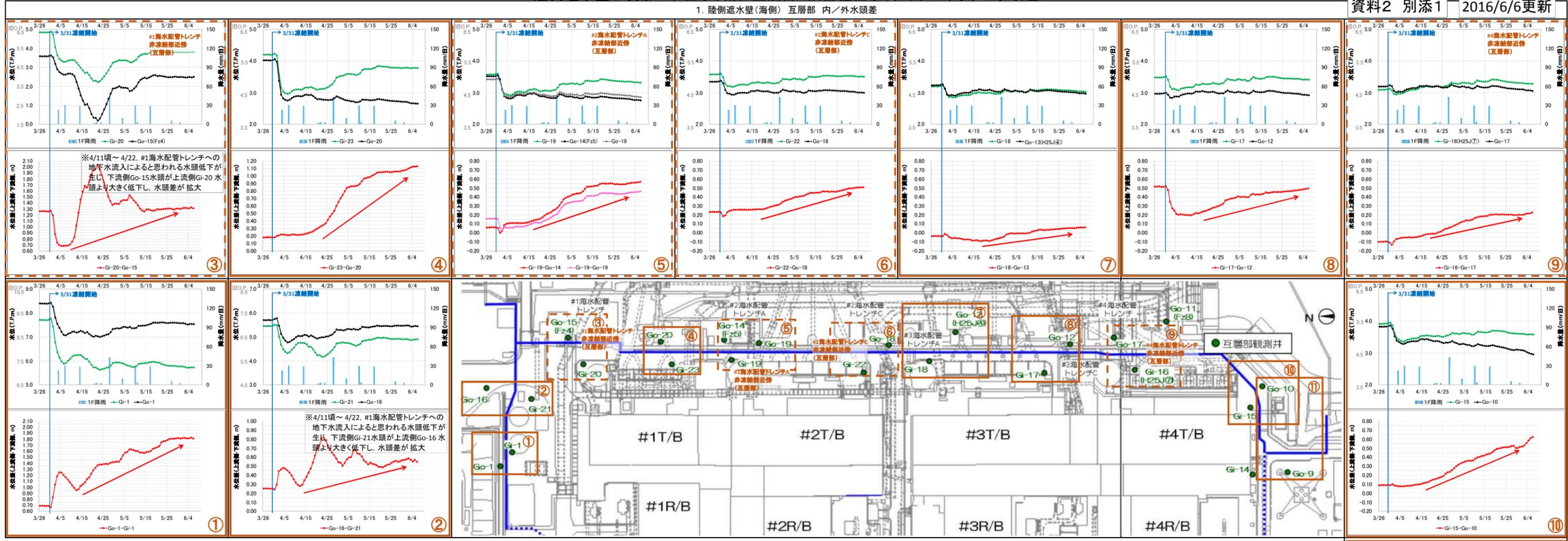


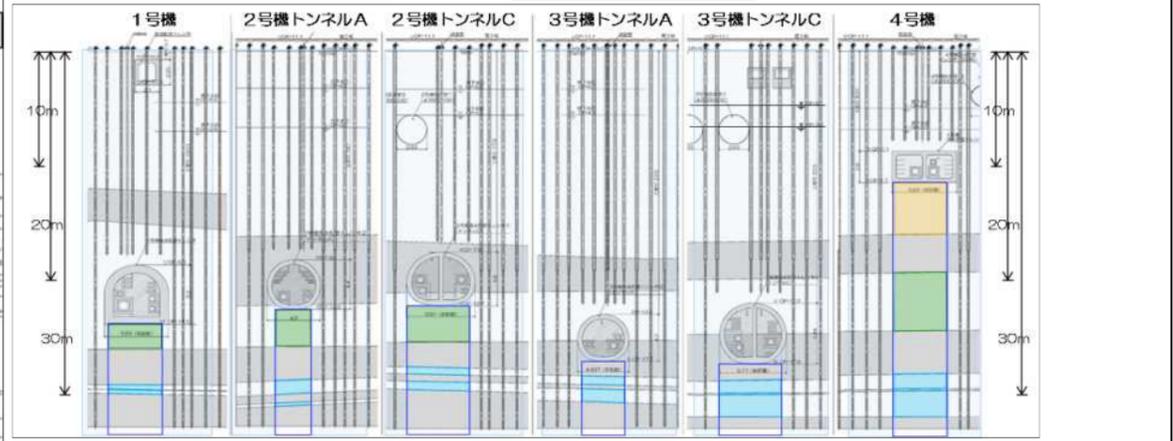
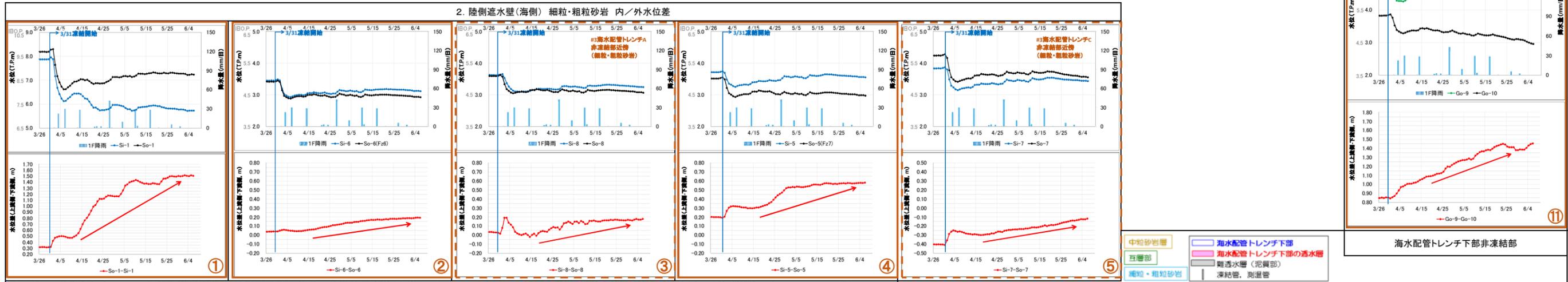
陸側遮水壁(海側) 中粒砂岩層・互層部・細粒粗粒砂岩 内/外水位・水頭差

資料2 別添1 2016/6/6更新

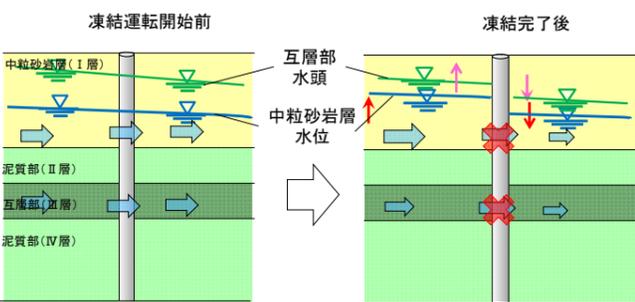
1. 陸側遮水壁(海側) 互層部 内/外水頭差



2. 陸側遮水壁(海側) 細粒・粗粒砂岩 内/外水位差

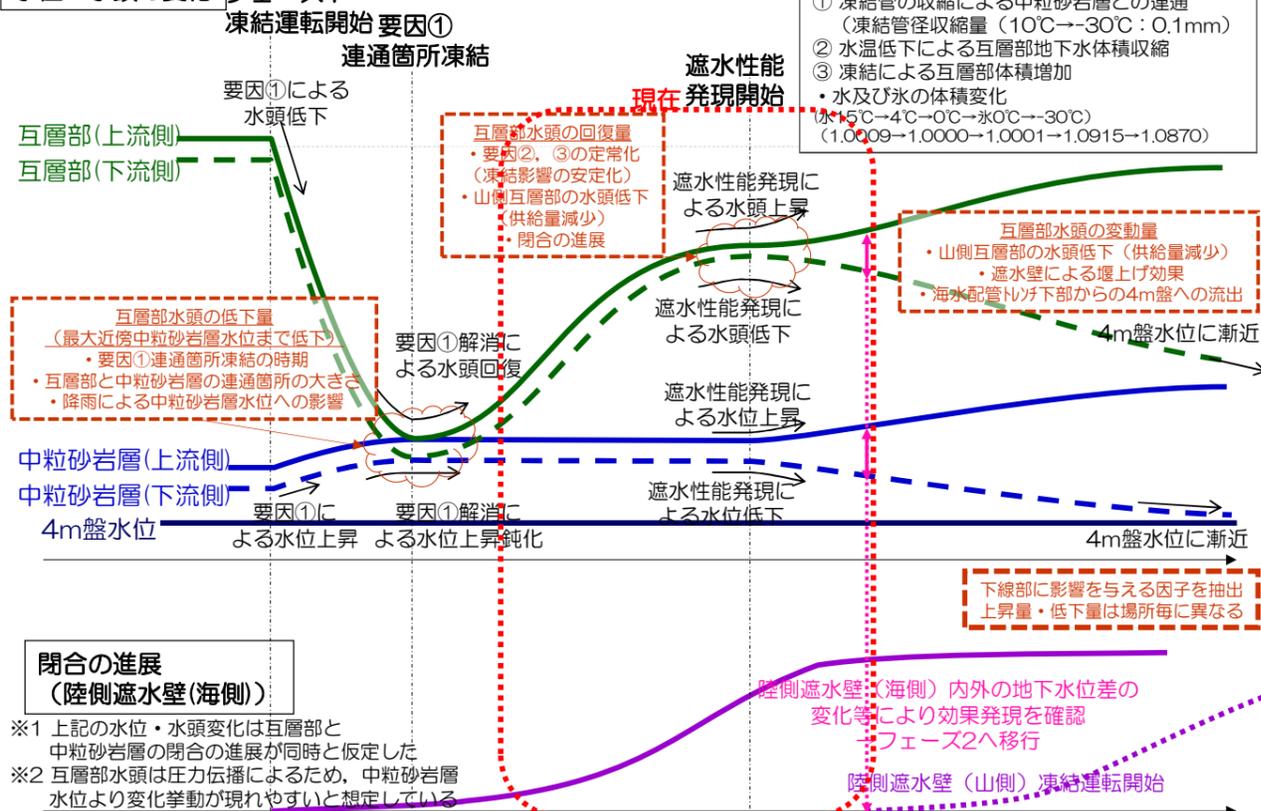


一般的な条件下では、陸側遮水壁の遮水効果発現により、陸側遮水壁を挟んで、地下水の流れの上流側では互層部水頭と中粒砂岩層水位は共に上昇し、下流側では共に低下する。



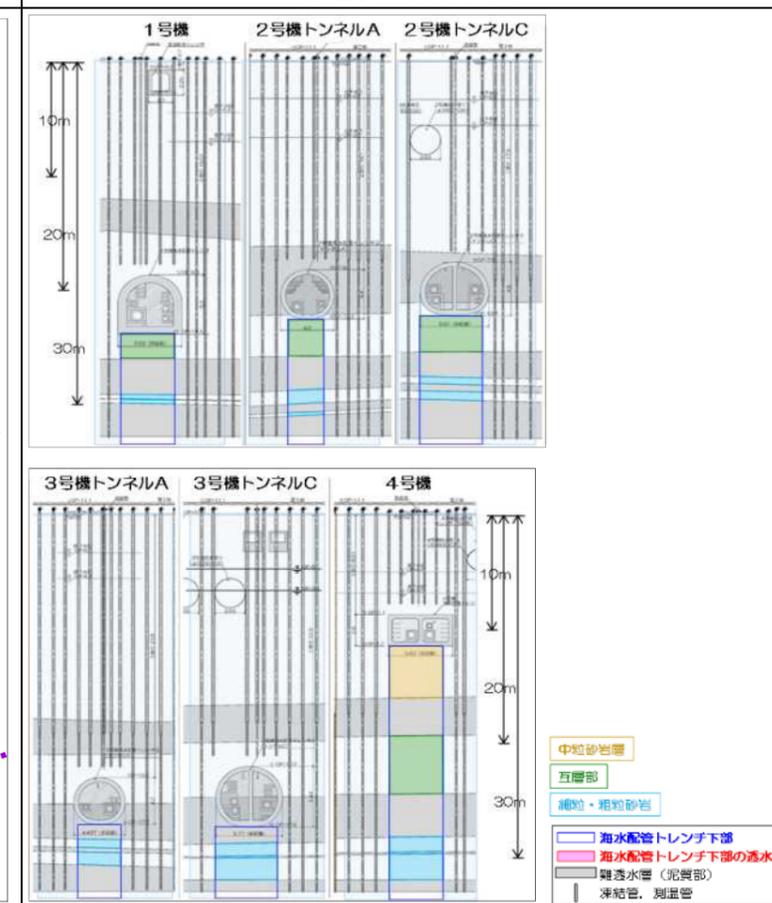
水の流れ
 中粒砂岩層水位の傾向
 互層部水頭の傾向

水位・水頭の変化 フェーズ1

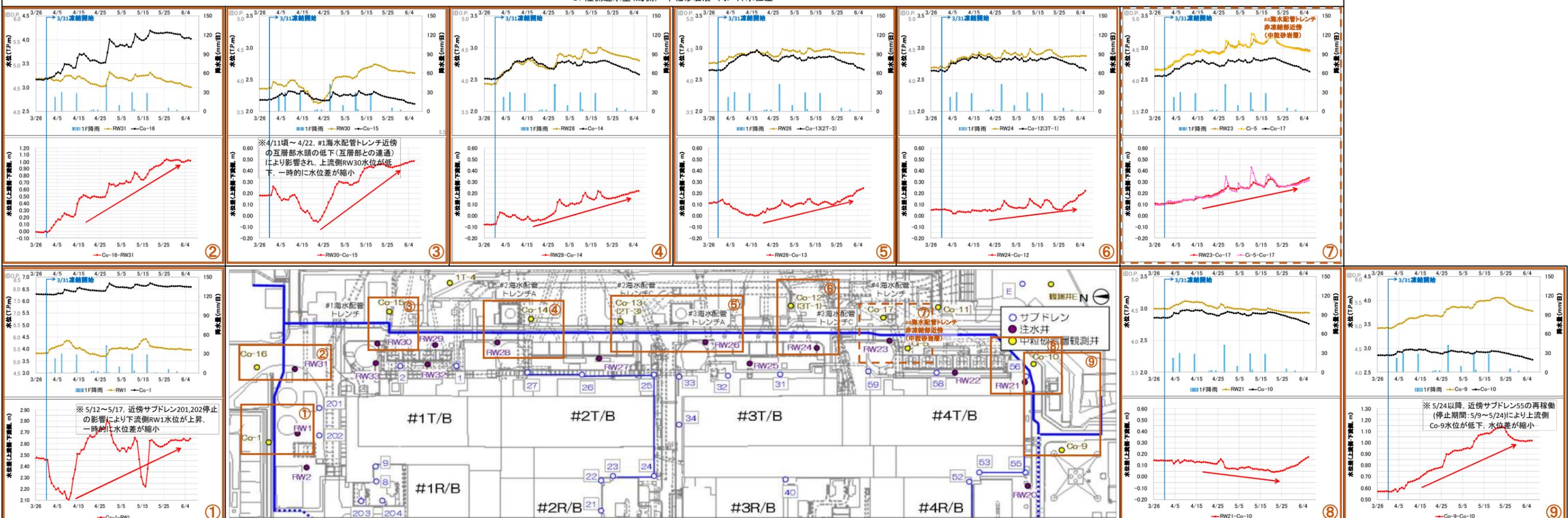


閉合の進展 (陸側遮水壁(海側))

※1 上記の水位・水頭変化は互層部と中粒砂岩層の閉合の進展が同時と仮定した
 ※2 互層部水頭は圧力伝播によるため、中粒砂岩層水位より変化挙動が現れやすいと想定している

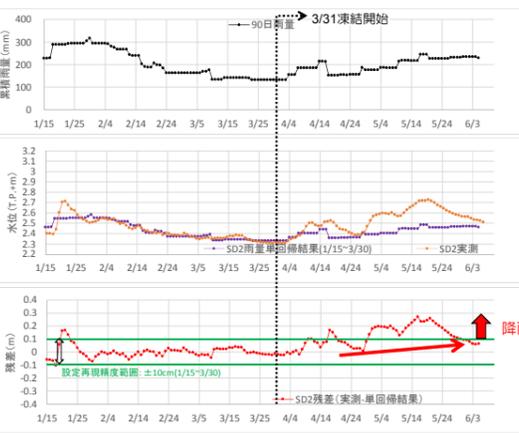
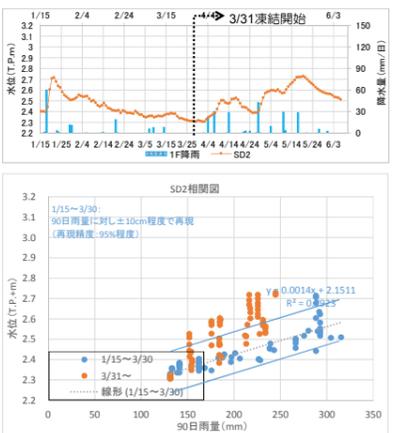


3. 陸側遮水壁(海側) 中粒砂岩層 内/外水位差

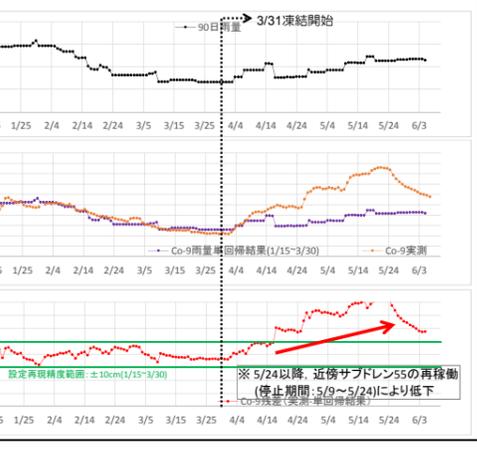
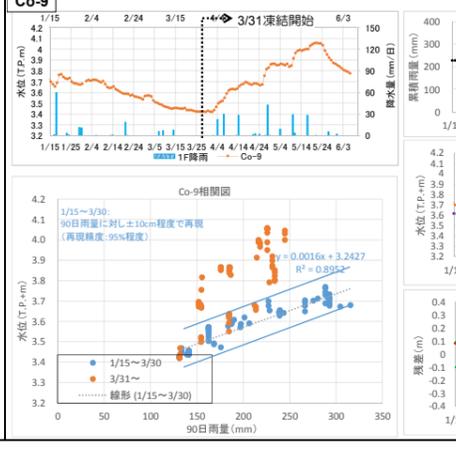
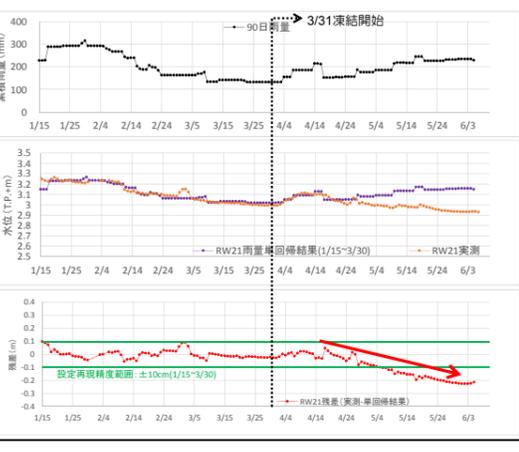
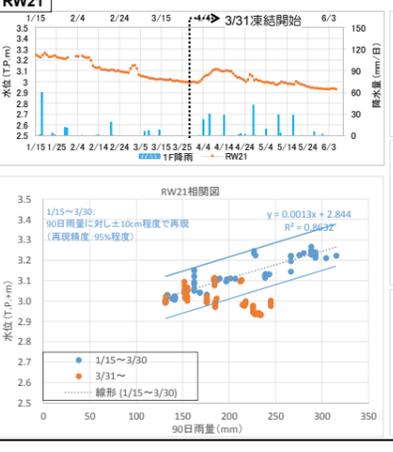
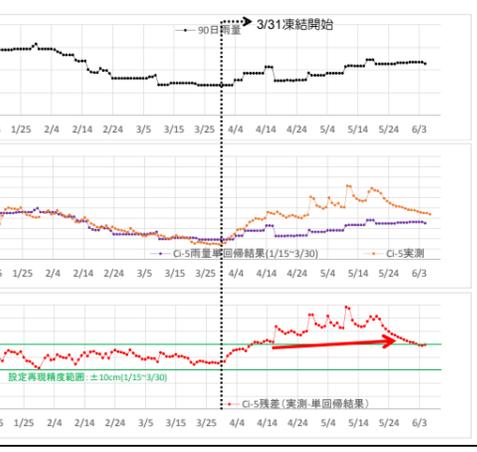
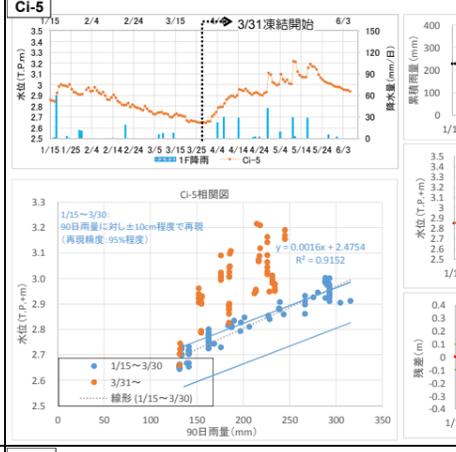
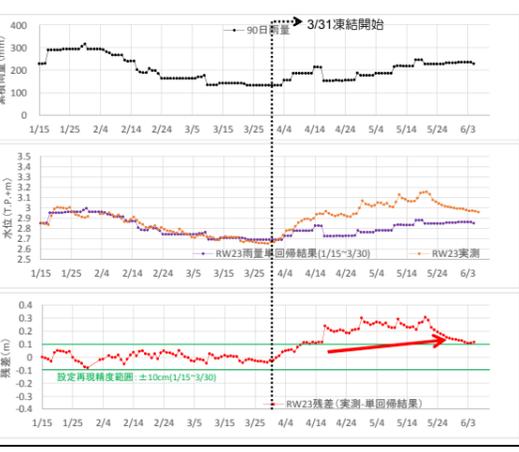
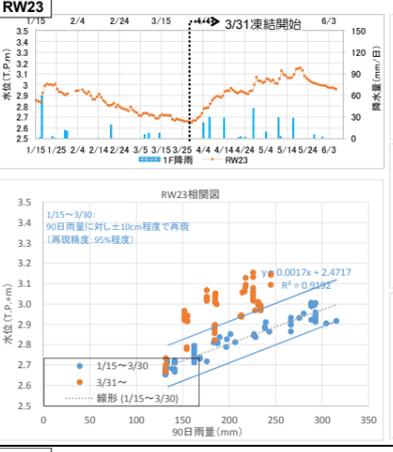
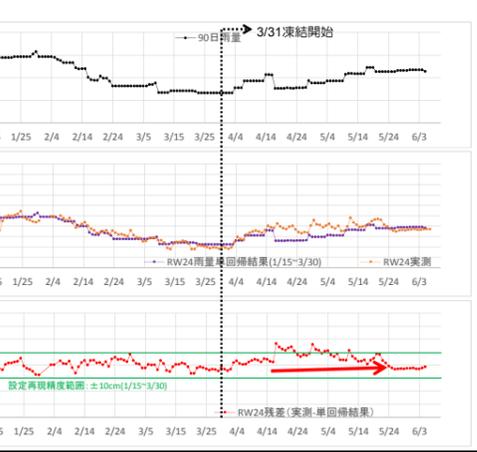
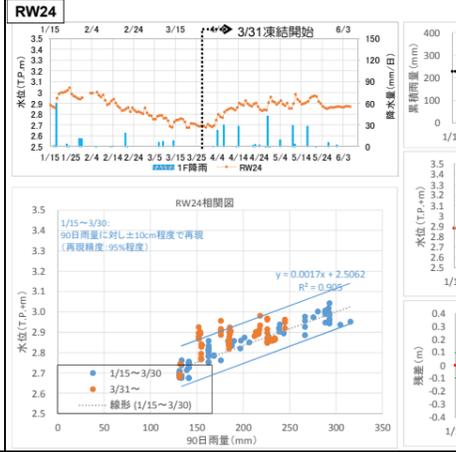
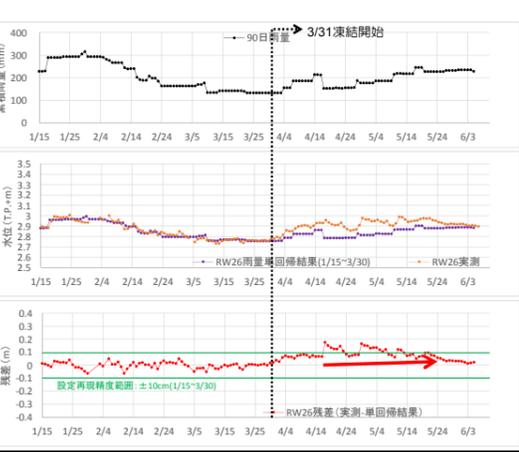
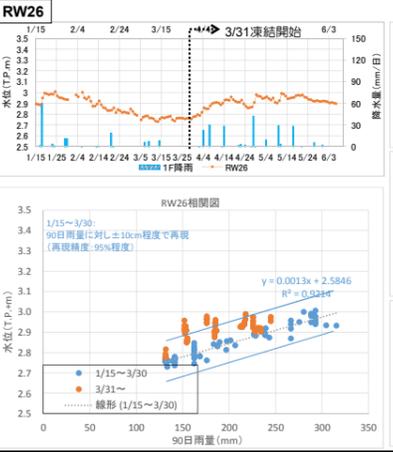
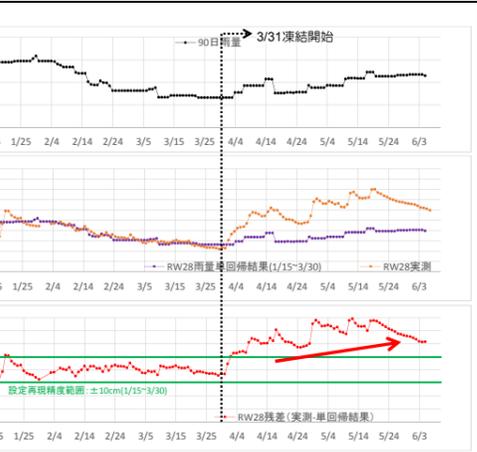
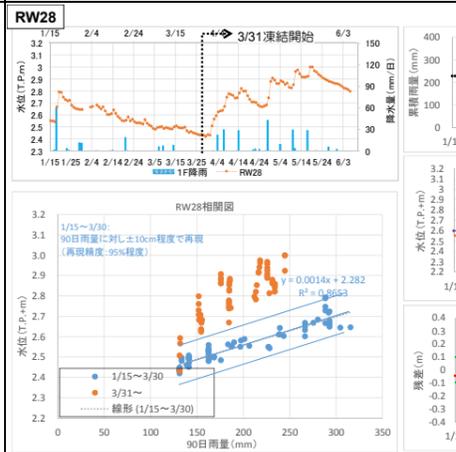
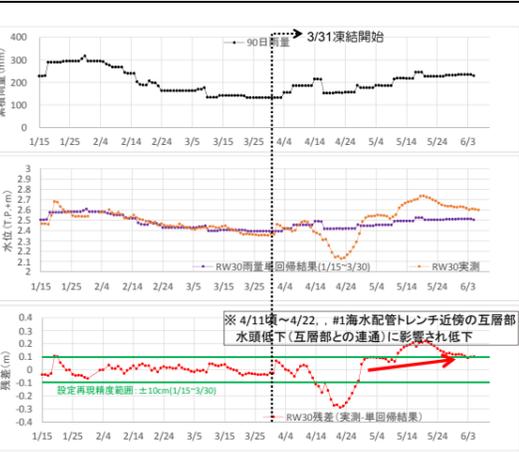
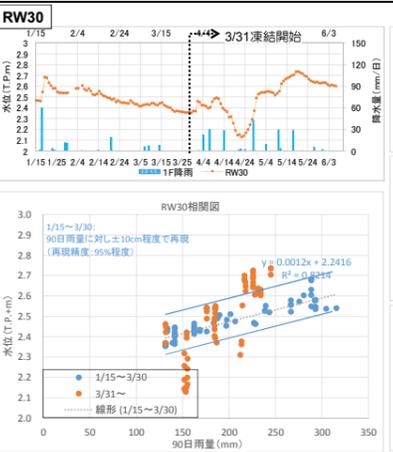
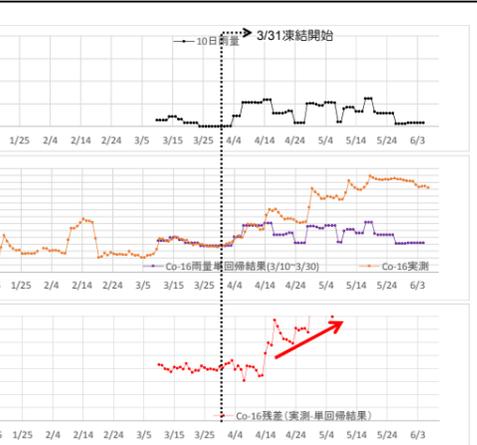
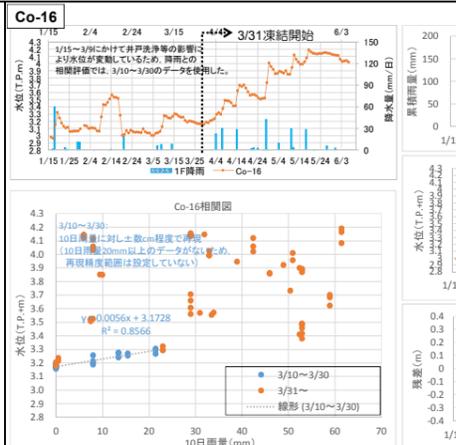
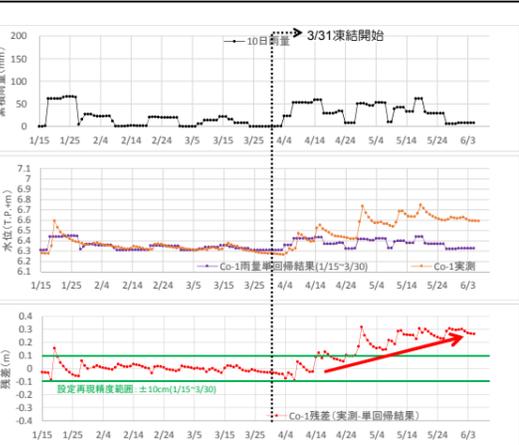
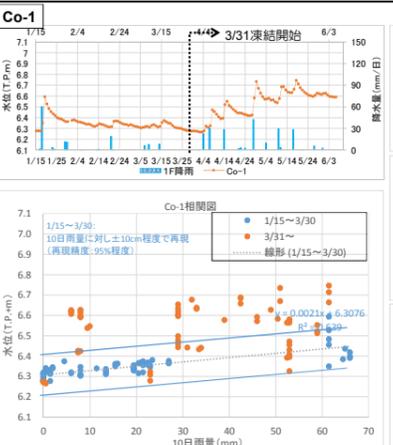


- 1/15※~3/30の地下水位と○日雨量との相関を確認し、地下水位と最も相関の高い累積降雨日数を選定する。
- 相関図より、全体分布の内、残差(実測値-単回帰結果)を包絡する範囲が95%程度となることを目安として単回帰分析の再現精度を設定する。
- 上記により、降雨の影響を考慮した地下水位の変動幅を評価し、変動幅を超えて地下水位が上昇し、継続することを確認する。

※1/14より海側サドレンの設定水位が現状と同程度(T.P.+2.5m程度)としたことより設定



↑: 地下水位と90日雨量の相関関係から得られた再現精度の幅 ※24時間平均データを使用した。ただし、注水井からの注水を実施した日等は除く。

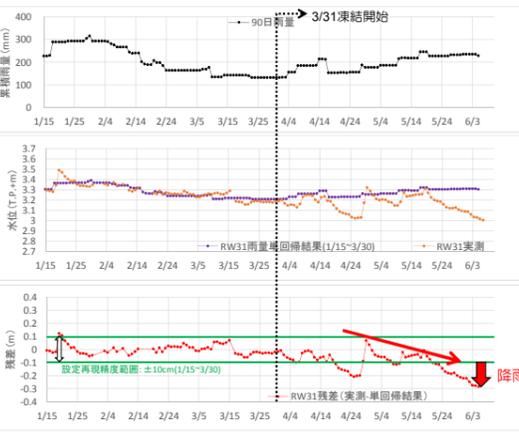
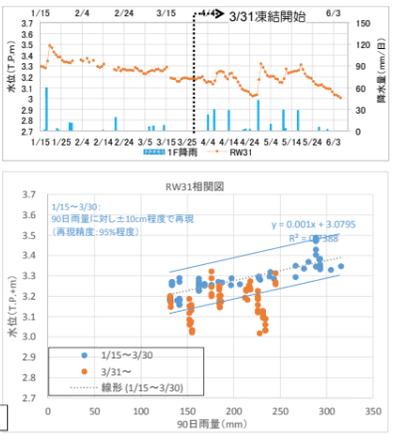


※5/24以降、近傍サドレンS5の再稼働(停止期間:5/9~5/24)により低下

陸側遮水壁(海側)下流側観測井 降雨影響を考慮した地下水位の変化

- 1/15~3/30の地下水位と〇日雨量との相関を確認し、地下水位と最も相関の高い累積降雨日数を選定する。
- 相関図より、全体分布の内、残差(実測値-単回帰結果)を包絡する範囲が95%程度となることを目安として単回帰分析の再現精度を設定する。
- 上記により、降雨の影響を考慮した地下水位の変動幅を評価し、変動幅を超えて地下水位が低下し、継続することを確認する。

※ 1/14より海側サドレンの設定水位が現状と同程度 (T.P.+2.5m程度) としたことより設定



例) RW31
 ↓: 地下水位と90日雨量の相関関係から得られた再現精度の幅
 ※ 24時間平均データを使用した。ただし、注水井からの注水を実施した日等は除く。

